

第1章・計画策定にあたって

1. 本計画の趣旨

我が国においては、人口の減少と急速な高齢化が進む中で、生活習慣病に起因する疾病構造が変化し、要介護者の増加、社会保障費の増大等、様々な課題が存在しています。そのため、国は、平成25(2013)年度から健康増進に関する基本的な方向や目標を定めた「健康日本21(第2次)」を策定し、推進しています。

また、茨城県は平成30(2018)年度から「第3次健康いばらき21プラン」を策定し、一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、重症化や合併症の発症を予防した取り組みを推進し、「健康長寿日本一」を目指しています。

東海村の健康づくりについては、平成16(2004)年度に「第1次東海村健康づくり計画」、平成23(2011)年度には「第2次東海村健康づくり計画」を策定し、「子どもの健康づくり」「大人の健康づくり」「疾病予防」「ネットワークの構築」の4つの柱に基づき推進してきました。

また、東海村の食育については、国の「食育推進基本計画」に基づき、「第2次東海村健康づくり計画」の食部門の行動計画として平成25(2013)年度に「東海村食育推進行動計画」を策

定し、「食を通じた健康づくり」「地産地消の推進」「食文化の継承」「ネットワークの推進」の4つの柱に基づき推進してきました。

「健康」であることは、持続可能なまちづくりの実現を進めるうえで、重要な要素の1つです。誰もがいつまでも健やかに、自分らしく暮らすためには、住民の一人ひとりが自分の身体やところに目を向け、健康づくりに取り組むことが必要となります。

本計画は、東海村の最上位計画である「東海村第6次総合計画」に掲げられた「安心して暮らし続けることができるまちづくり」の実現に向けて、生涯を通じた健康づくりを推進するため、関係機関等と連携しながら、これまでの健康づくりと食育、また新たに歯科保健を含めた総合的な健康づくりの活動指針を示したものととして策定しました。



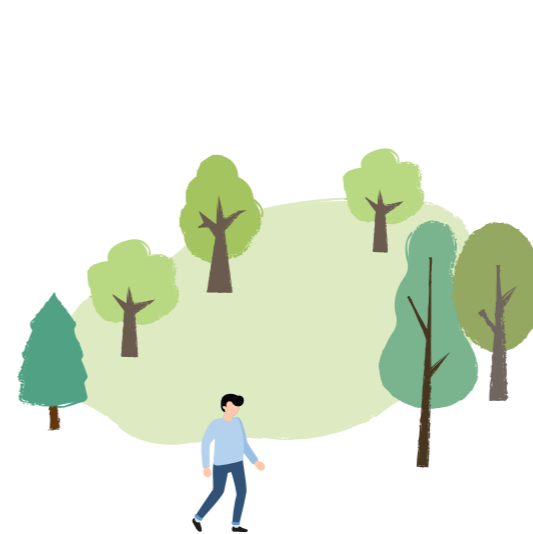
2. これまでの計画推進状況

1 東海村健康づくり計画について

「第1次東海村健康づくり計画」の推進時は、「自分の健康は自分でつくる」のスローガンの下、「みんなですこやかウォーキング」を試行的に開催しました。

「第2次東海村健康づくり計画」の推進時には、「東海村健康づくり計画推進委員」(以下「すこやか委員」という。)と健康増進課が協働で実施する事業として、定例開催するに至りました。

現在では、健康増進課の健康づくり事業を代表する取り組みの1つに発展し、住民の主体的な健康づくり活動の推進に寄与してきました。



2 東海村食育推進行動計画について

「東海村食育推進行動計画」策定後から、「東海村健康づくり計画推進委員会」にて食育の取り組みや課題について情報を共有、協議する取り組みが始まりました。

平成28(2016)年度からは、特に若い世代や次世代への食育事業を重要課題として、関係課及び団体、企業と連携した親子の食育事業「ヘルスメイトジュニア事業」を開始し、「東海村食育推進行動計画」の4つの柱に基づいた教室を実施するに至り、総合的に食育を普及啓発してきました。



3. 策定体制

計画の策定にあたっては以下の策定体制で行いました。

1 アンケート調査の実施

「第2次東海村健康づくり計画」と「東海村食育推進行動計画」の評価と、東海村の現状を把握するため、「東海村健康づくり・食育に関するアンケート」を実施しました。

アンケート結果概要は資料編に掲載しました。

	調査対象者	調査期間	配布数・方法	回収数	回収率
一般向け	16～75歳までの住民 (令和2年4月1日現在、東海村に住所を有する方)	令和2(2020)年 5月7日～5月22日	2,000件(無作為) 郵送配布	790件	39.5%
小中学生向け	村内小学校の5年生及び 村内中学校の2年生	令和2(2020)年 5月7日～6月1日	白方小学校 / 106件 中丸小学校 / 97件 東海中学校 / 174件 東海南中学校 / 199件 各校に配布	103件 80件 174件 184件	93.9%
	計		2,576件	1,331件	51.7%

2 東海村健康づくり計画ワーキング委員会

「東海村健康づくり計画推進委員会設置要綱」に基づき、「東海村健康づくり計画ワーキング委員会」(以下「ワーキング委員会」という。)を設置し、公募を含む幅広い層の住民代表委員(医療関係者、保健関係者、教育関係者、農業関係者、すこやか委員、母子保健推進員、食生活改善推進員(以下「ヘルスマイ」という。))、地区社会福祉協議会等と意見交換を実施し、計画案を策定しました。

3 東海村健康づくり推進協議会, 東海村健康づくり計画推進委員会

ワーキング委員会で作成した計画案を「東海村健康づくり計画推進委員会」「東海村健康づくり推進協議会」にて検討修正し、本計画を策定しました。

4 パブリックコメントの実施

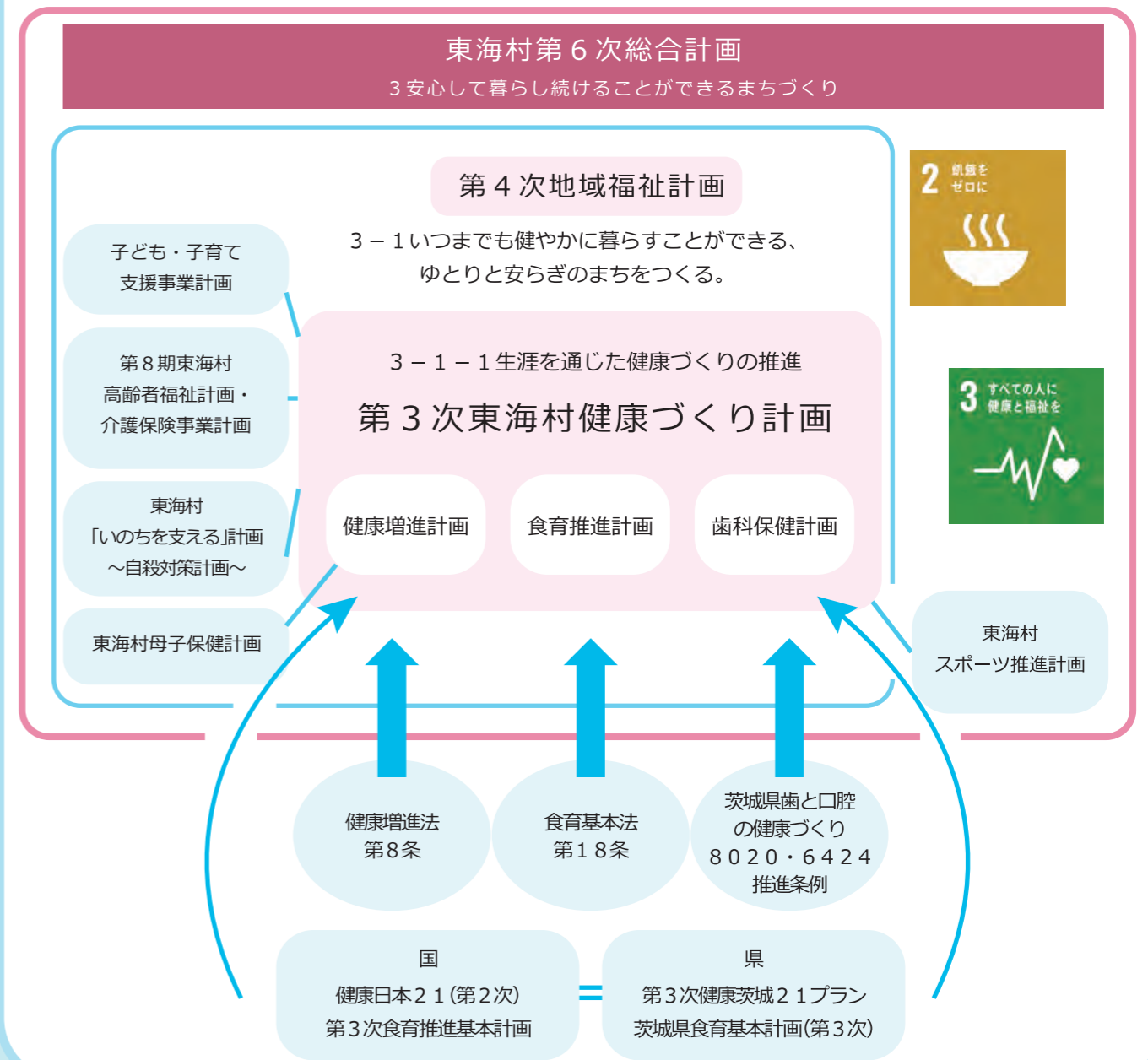
令和3(2021)年1月25日～2月24日にパブリックコメントを実施し、計画案について村民の意見を募集し、反映することに努めました。幅広く意見を募るため、住民だけでなく、村内在勤・在学者も含めた村民を対象としました。

4. 計画の位置づけ

本計画は、「東海村第6次総合計画」を東海村の最上位計画とし、取り組みの柱の1つである「3.安心して暮らし続けることができるまちづくり」と、その中で掲げられた施策である「3-1.いつまでも健やかに暮らすことができる、ゆとりと安らぎのまちをつくる」の「3-1-1.生涯を通じた健康づくりの推進」を担う健康づくり分野の計画に位置づけます。

また、「健康増進法第8条」に基づく「健康増進計画」及び「食育基本法第18条」に基づく「食育推進計画」「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」に基づく「歯科保健計画」とします。

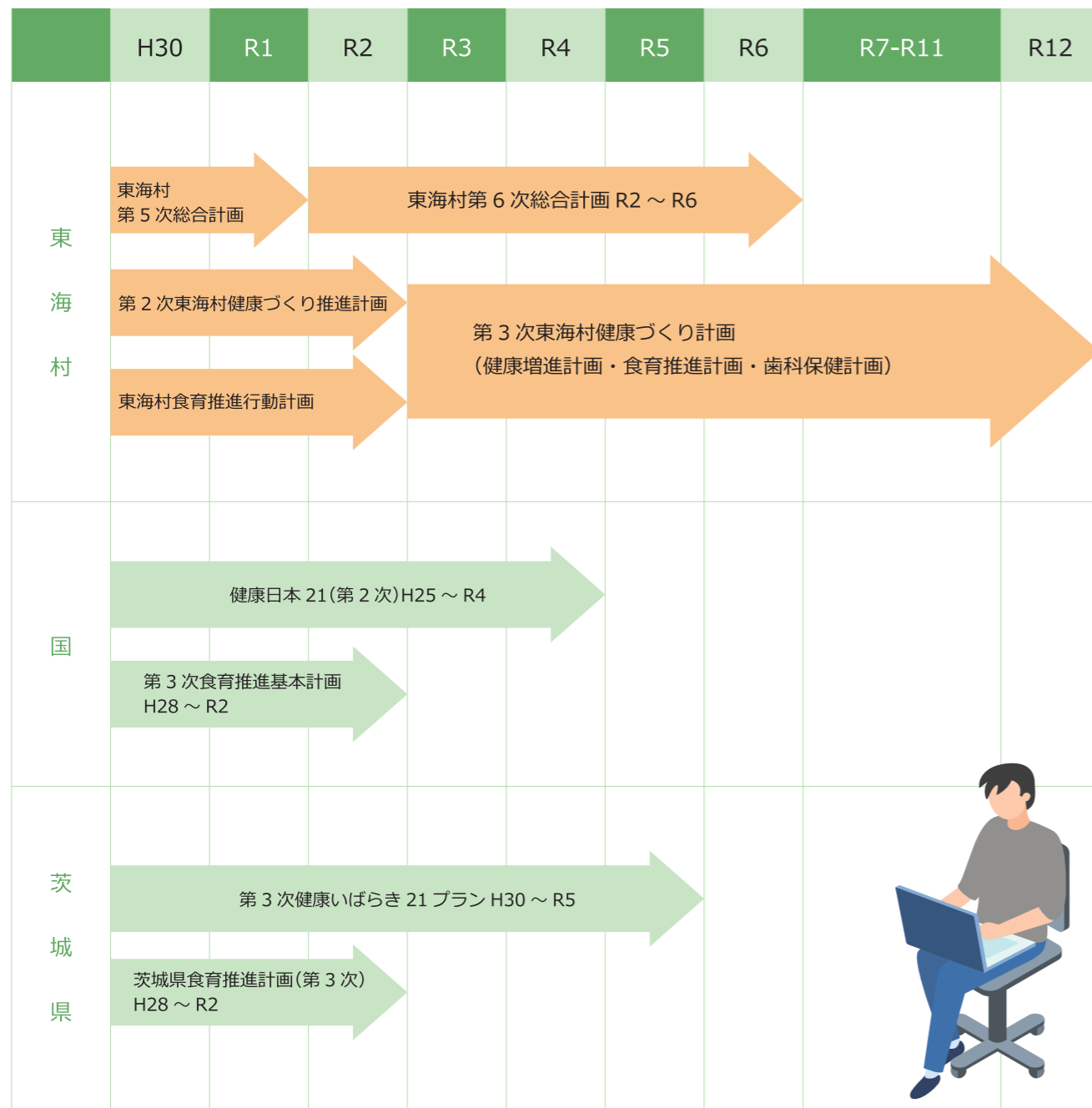
策定にあたっては、東海村の関連計画、国の「健康日本21(第2次)」、「第3次食育推進基本計画」、茨城県の「第3次健康いばらき21プラン」、「茨城県食育推進計画(第3次)」等との整合を図りました。



5. 計画の期間

本計画の期間は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とします。

なお、取り組みの進捗状況や社会情勢の変化、保健・医療を取り巻く環境の変化、他の関連する計画等に対応し、必要に応じて内容の見直しを行います。



6. 前計画の達成状況(評価)

達成状況を以下のように評価しました。

- A：順調(実績値が目標値以上)
- B：概ね順調(実績値が目標値の80～99%)
- C：やや努力が必要(実績値が目標値の50～79%)
- D：努力が必要(実績値が目標値の50%未満)



1 第2次東海村健康づくり計画



1

子どもの健康づくり

評価指標		基準値 H22	中間値 H27	実績値 R1	目標値	達成 状況
乳幼児健診の 受診率	乳児健診		97.7%	100%		A
	1歳6か月児健診	94.0%	99.4%	97.8%	98%	B
	3歳児健診		96.6%	98.1%		A
乳児家庭全戸訪問実施率 [※]		94.0%	98.8%	97.2%	100%	B
子育てについて相談できる人がいる割合		94.0%	99.7%	100%	100%	A

※ 評価時の令和元(2019)年度については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点から、3月実施予定だった乳幼児健診及び乳児家庭全戸訪問を延期しました。



大人の健康づくり

評価指標	基準値 H22	中間値 H26	実績値 R2	目標値	達成 状況
朝食を毎日摂る習慣のある人の割合	86.0%	96.2% 参考値 ^{※1}	90.4%	96.0%	B
運動習慣のある人の割合	56.0%	49.6% 参考値 ^{※2}	50.8%	70.0%	C

※1 H26 年度特定健康診査受診者(40～74歳)に対するアンケートにおける「朝食の喫食が週3日以上ある」人の割合(H26)。

※2 H26 年度すこやかウォーキング参加者アンケート「1日30分以上軽く汗をかくような運動を週に2回以上1年以上継続している」人の割合。



人材育成とネットワークの構築

評価指標	基準値 H22	中間値 H27	実績値 R2	目標値	達成 状況
健康づくりサポーターの養成	未実施	未実施	未実施	実施	D
関係団体との連絡会議の開催	未実施	実施	実施	実施	A





4

疾病対策

評価指標		基準値 H22	中間値 H27	実績値 H29	目標値	達成 状況
がん検診要精密 検査の実施率	肺がん	78.0%	89.4%	91.2%	85.0%	A
	胃がん		82.2%	82.5%		B
	大腸がん		87.0%	74.8%		B
評価指標		基準値 H22	中間値 H27	実績値 R1	目標値	達成 状況
定期予防接 種の接種率	麻疹風疹Ⅰ期	85.0%	92.4%	97.0%	95.0%	A
	麻疹風疹Ⅱ期		93.7%	94.3%		B



達成状況について

14 の評価項目のうち A または B 評価は 12 項目で 86% となり、全体的に順調または概ね順調です。運動習慣のある人を増やす取り組みについては、「みんなですこやかウォーキング」の定例開催等に取り組みましたが、C(やや努力が必要)評価となっています。また、健康づくりサポーター養成については、既存事業の参加者や地域活動を実践されている方々に対し、健康づくりのボランティア育成等仕組みづくりを試みましたが、未実施のため D(努力が必要)評価となっており、本計画においても継続して取り組みを推進します。

2 東海村食育推進行動計画



1. 食を通じた健康づくり

評価指標	基準値 H24	中間値 H27	実績値 R2	目標値	達成 状況	
食事のバランスを考えて食事を摂るように心がけている人の割合	—	—	77.5%	40.0%	A	
1日1回は家族そろって食事を摂る	84.9%	—	74.4% ^{※1}	90.0%	B	
食事の時間を楽しいと思う	89.7%	—	—	92.0%	—	
朝食を必ず摂るように心がけている(R2年度高校生実績値は16-19歳)	全体	88.0%	96.2%	90.4%	90.0%	A
	小学校	96.6%	—	96.0%	98.0%	B
	中学校	91.5%	—	92.9%	95.0%	B
	高校生	85.5%	—	89.4%	88.0%	A
	20・30歳代男性	76.9%	—	73.8%	80.0%	B
メタボリックシンドローム予防や改善のために、適切な食事、または週に複数回の体重計測を継続的に行っている	49.0%	—	49.4%	55.0%	B	
村内のいばらき健康づくり支揚店加入数	6	9	11	8	A	
食育という言葉やその意味を知っている	58.8%	—	72.0%	65.0%	A	
食育に関心がある	67.3%	—	66.0%	70.0%	B	
食事バランスガイドの言葉や意味を知っている	37.6%	69.2%	55.3%	40.0%	A	
よく噛んで食べることを心がけている	55.2%	—	69.5%	60.0%	A	
1歳6か月児のむし歯のない者の割合	96.6%	98.3%	99.1%(H30)	97.0%	A	
3歳児のむし歯のない者の割合	83.3%	81.0%	85.6%(H30)	85.0%	A	
小学生のむし歯のない者の割合	31.0%	41.6%	48.6%(H30)	35.0%	A	
中学生のむし歯のない者の割合	48.0%	49.1%	48.2%(H30)	50.0%	B	
定期的に歯科検診を受けている(年1回)	36.3%	—	44.9%	40.0%	A	
成人歯科検診受診率	12.1%	14.9%	17.6%(R1)	15.0%	A	
成人歯科検診での要医療率	9.2%	10.6%	—	8.0%	—	
食後の歯磨きを心がけている(夕食後)	88.5%	—	94.0%	90.0%	A	
喫煙は歯周病に悪影響があると思う	71.9%	—	38.3% ^{※2}	75.0%	C	

※1 令和2(2020)年度「健康づくり・食育に関するアンケート調査」で、「朝食または夕食で、家族や友人等誰かと一緒に食事する機会は1週間で何回くらいありますか。」という質問で「週に7回以上」と回答した割合。

※2 アンケート対象者については、平成24(2012)年度は、「総合健診受診者」であったが、令和2(2020)年度は、無作為抽出での郵送法として実施。



2. 食文化の継承

評価指標	基準値 H24	中間値 H27	実績値 R2	目標値	達成 状況
日本食は生活習慣病予防に効果があると思う	78.1%	—	86.5%	80.0%	A
行事食(おせち料理,七草粥等)を知っている	—	77.0%	90.9%	90.0%	A
日本型食生活を週に2回以上食べている	86.7%	—	—	90.0%	—
食事のときに「いただきます」 「ごちそうさま」の挨拶をしている	79.9%	—	83.2%	85.0%	B
残食が出ないように調理を工夫している	—	—	91.5%	50.0%	A
食事の献立を考えるときは旬の食材 を使用するよう心がけている	58.8%	—	70.8%	65.0%	A
食物の旬を知っている	71.8%	—	80.1%	75.0%	A



3. 地産地消の推進

評価指標	基準値 H24	中間値 H27	実績値 R2	目標値	達成 状況
東海村の特産品を知っている	67.6%	—	79.1%	70.0%	A
学校給食における地場産物活用状況 (食材数ベース)	30.0%	56.0%	45.5%	30.0%	A
学校給食における1週間あたりの米飯給食回数	3.0回	3.0回	3.5回	3.0回	A
学校給食における東海村産米の使用割合	100%	100%	98.0%	100%	B
収穫体験等の農業体験(家庭菜園等) をしたことがある	64.6%	—	80.8%	70.0%	A
とうかい安全安心農産物認証を受けている	164	廃止	廃止	250	—



4. ネットワークの構築

評価指標	基準値 H24	中間値 H27	実績値 R2	目標値	達成 状況
東海村ヘルスマイトの人数	92	91	77	95	B
農業女性グループ連絡協議会補助事業の開催	2回	5回	4回	2回	A
食育推進に向けての情報共有の場の設置	なし	設置	設置	設置	A



達成状況について

食育に関する39の評価項目のうちAまたはB評価は34項目で87%となり、全体的に順調または概ね順調です。

「喫煙が歯周病に悪影響があると思う人の割合」は、C(やや努力が必要)評価となっています。喫煙や歯科口腔に関する事業は、本計画においても継続して取り組みを推進します。

